

令和 2 年

第 1 回太宰府市定例教育委員会会議録

令和 2 年 1 月 22 日

太宰府市教育委員会

令和2年第1回（1月）定例教育委員会会議録

1 開会及び閉会に関する事項

- | | | |
|---|-----|--|
| 1 | 日 時 | 令和2年1月22日（水）
午後2時00分開会
午後2時55分閉会 |
| 2 | 場 所 | 太宰府市役所4階 大会議室 |

2 出席委員の氏名

教育長	樋 田 京 子
委 員	野 中 秀 典
委 員	武 藤 佳穂里
委 員	桑 野 裕 文

3 欠席委員の氏名

委 員	日下部 寛 行
-----	---------

4 委員を除き会議に出席した者の職氏名

教育部長	江 口 尋 信
学校教育課長	鳥 飼 太
文化財課長	城 戸 康 利
スポーツ課長	安 恒 洋 一
文化学習課長	百 田 繁 俊
社会教育課長	木 村 幸代志
学校教育課副課長	八 尋 純 次
指導主幹	井 上 和 信
指導主幹	田 中 稔 彦
指導主幹	古 田 信 也
教育支援センター所長	園 田 正 斉
教務係	安 部 智 之
教務係	瓜 生 美 咲

1月定例教育委員会会議次第

1 開 会

2 今回会議録の署名委員 野 中 秀 典 委員

3 報 告

(1) 教育長報告

(2) 各課・館の月間主要行事報告

(3) 各課・館の月間主要行事計画

(4) 太宰府市放課後子ども教室報告

(5) 太宰府市スポーツ推進計画策定に係る太宰府市運動・スポーツに関する意識調査アンケートの結果について

(6) 東京2020オリンピック聖火リレーについて

4 審 議

議案第1号 令和2年度太宰府市教育施策要綱（案）について

5 閉 会

午後 2 時 00 分 開会

○樋田教育長

皆さん、こんにちは。

今日は日下部委員さんが欠席です。本日の出席数は私も加えまして 4 名です。定足数に達していますので、令和 2 年第 1 回太宰府市教育委員会 1 月定例会を開催します。

本日は傍聴人の方がお見えでございます。傍聴人の規則にのっとり、ご協力をお願いします。

[会議録の署名委員]

○樋田教育長

本日の会議録の署名については、会議規則第 14 条第 2 項の規定により、野中委員を指名します。よろしくをお願いします。

[教育長報告]

○樋田教育長

それでは、教育長報告をします。机上配付資料の、県の教育文化表彰をご覧ください。緑のマーカーをつけておりますが、教育委員会社会教育課の丸山指導主幹が、県の教育文化表彰、学校部門で表彰を受けられることになりましたので紹介します。太宰府市教育委員会としても大変光栄なことだと受けとめているところです。昨年まで春日小学校の校長をされておられましたので、その実績での表彰です。

それから 2 点目ですが、今日 4 時から総合教育会議が開催されます。流れ等については後ほど説明します。教育委員会会議後に、中学校の制服を展示していますので、案内をしたいと思っています。その後また総合教育会議という流れでいきたいと思っています。

制服展示会には昨日も 80 人ぐらいお見えになって、今日もかなりお見えになっているようです。非常に関心をお持ちいただいているということについて、ありがたく思っているところです。

3 点目ですが、机上にたくさんチラシもお配りしていますが、今、市で大変力を入れていますのが、2 月 22 日の 2 時から行われます、元号の「令和」を考案したとされています中西進先生の講演会をとびうめアリーナで実施します。1,300 年前ということにちなんで、1,300 人の方に聞いていただきたいという思いです。この後、子どもたちも、中西先生と市長を囲んで、太宰府のまちづくりについてのディスカッションをするようにしていますので、教育委員の皆様方にもぜひ参加いただければありがたいと思っています。

私からの報告は以上です。質問等ありませんか。

[各委員 なしの声]

[各課・館の行事報告及び行事計画]

○樋田教育長

それでは、各課・各館の行事に入りますが、前回と同様、行事の中で、その行事の詳しい説明が必要な部分については合間に入れさせていただきます。

では、社会教育課、お願いします。

○社会教育課長

社会教育課の1月の行事ですが、1ページをご覧ください。

12日です。先日、令和2年の成人式を開催しています。教育委員の皆様にもご出席いただきまして、ありがとうございます。内容については、ご出席いただいておりますのでおわかりかと思いますが、別紙1に、お配りした資料に載せております。

○樋田教育長

別紙1、手元にありますか。

○社会教育課長

郵送でお送りした分です。

○樋田教育長

前に送っていますね。ございますか。

○武藤委員

はい、あります。

○樋田教育長

いいですか。では、説明を進めてください。

○社会教育課長

本年の該当者が715名、男性363名、女性352名だったのですが、当日の出席者が529名ということで、約73.9%の出席率になっています。内容についてはご存じのとおりで、おかげさまで無事終了したところです。

1月については以上です。

3ページをご覧ください。2月の予定です。

23日、別紙3でこれも資料を一緒にお送りしていましたが、本年も人権まつりだざいふ2020を開催する予定です。チラシのとおりですので、お時間があれば会場をご覧くださいと思います。

また、2月の行事に載せておりませんが、この前日の22日に、今日お配りした、2枚組の資料はございますか。

○樋田教育長

子ども・学生未来会議ですかね。

○社会教育課長

1枚目が子ども・学生未来会議開催要綱となっている分です。

2枚目には、教育長も申したとおり、中西進先生の講演会のチラシを入れています。1枚目ですが、令和元年度太宰府市子ども・学生未来会議開催要綱ということで、資料をつけさせていただいています。これは昨年度から始まり、1回目、平成30年度は中学生の子ども議会ということで開催したところです。

本年度、どのようなことをするかと内部で検討していましたが、市長から、ぜひ、この中西先生が来られたときに、子どもたちと先生とのやりとりの場を設けたいという意向があり、急遽こういった形で開催に向けて動きました。1番の目的に書いていますが、2番の内容で、市内小・中学校代表児童生徒と、中西先生、市長とのディスカッションということで、開催日時が来月2月22日の15時30分から17時、講演会終了後の時間で、場所については、とびうめアリーナの1階の研修室、講演会自体は2階のアリーナで行われますが、それが終了後に、子供たちとできるだけ中西先生が触れ合う場にするために、場所を変えて、非公開の形で開催するように進めています。

参加対象者は、市長と学識者と中西先生、あと各小・中学校、11校それぞれの学校から男女1名ずつということで22名、あと傍聴ということで、保護者、学校関係者等を想定しています。

実施方法は、各学校からそれぞれゲスト紹介、簡単な学校紹介、それぞれ子どもたちが考えるまちづくり等を発表して、それに対して市長や中西先生から意見をもらうことになっています。最終的には講評し、2個目の日程で書いてありますが、15時45分から17時までの間で、最後に記念撮影を設けています。

それで、教育委員の皆様におかれましては、もしご都合がつけば、ぜひ、この子ども・学生未来会議をお聞きいただければと思います。

説明は以上です。

○樋田教育長

学校教育課、お願いします。

○学校教育課長

それでは、1ページをご覧ください。

1月の主要事業報告です。

7日の福岡県とびうめ教育表彰式ですが、先月の教育委員会でも報告しましたが、太宰府中学校の主幹、それから教諭の2名が受賞されています。

14日、令和元年度の文部科学大臣優秀教員表彰ということで、こちらについても、太宰府中学校の主幹が受賞されて表彰を受けられています。

続きまして、20日です。先ほど教育長も触れましたが、中学校の標準服のサンプル展示会ということで、407会議室で、20日から25日まで展示会を予定しています。後ほどご案内をさせていただきたいと思っています。

1月については以上です。

続きまして、3ページをご覧ください。

2月の予定です。

14日に第2回の地域コーディネーター研修会。
19日にいじめ問題等対策連絡協議会。
20日に筑紫地区教育論文表彰式。
25日に不登校対策連絡協議会をそれぞれ計画しています。
以上です。

○樋田教育長

文化財課、お願いします。

○文化財課長

それでは、1ページをご覧ください。

1月の行事報告ですが、11日に発見塾（9回目）がありました。

また、今週の金曜日に第66回文化財防火デーの消防の演習と、幼稚園生、園児のパレードを行います。場所は太宰府天満宮と、今年は竈門神社で予定をしています。

続きまして、3ページをご覧ください。

2月15日が発見塾の10回目。

29日土曜日ですが、チラシにあります、だざいふ景観・市民遺産フェスタ2020ということで、市民遺産のフェスタ、それから昨年度認定された市民遺産の紹介、活動の紹介、都市計画と一緒に一緒に行っており、景観賞の表彰式などがあります。あわせて、この後に交流会を予定していますので、そのご案内です。出席・欠席と書いていますが、欠席の方は改めて出していただく必要はありませんので、申し添えておきます。

行事とは関係なく、直接文化財ではありませんが、古都大宰府保存協会の「大宰府史跡ものがたり」のチラシを配らせてもらっています。これは昨年度、大宰府史跡発掘50年ということで、保存協会が史跡を中心とした動画を作成しています。これが全国地域映像コンクールの審査員特別賞を受賞したということで、上映会を2月10日のイオンモール筑紫野で行うことについてのお知らせです。お時間がございましたら、よろしくをお願いします。

文化財課は以上です。

○樋田教育長

文化学習課、どうぞ。

○文化学習課長

文化学習課です。資料の1ページをご覧ください

1月の行事についてです。

明日23日、まほろば市民大学の閉講式です。

25日、机上にチラシを配付していますが、文化スポーツ振興財団主催による、史跡のまちの音楽隊ということで、本年度はトロンボーンとピアノの演奏を予定しています。

続きまして、2月の行事予定です。3ページをご覧ください。

1日は、前回ご案内申し上げました小学生読書リーダー交流会を開催します。

続きまして、机上にチラシを2件配付していますが、まず15・16日、文化スポーツ振興

財団主催による、史跡のまちの“生”歴史ドラマ、今年度は令和・万葉にちなみ、「旅人」の公演を予定しています。

16日と29日、チラシを配付していますが、市が行うホールアシスト事業の一環として、本年度はゴスペル公演を開催します。本番に先立ち市民から参加を募るということで、16日・29日、ワークショップを開催します。本番は3月20日を予定しています。いずれももしご都合、お時間ございましたら、ご観覧をいただければと思います。

文化学習課からは以上です。

○樋田教育長

スポーツ課、どうぞ。

○スポーツ課長

スポーツ課です。1月の行事報告です。2ページをご覧ください。

記載しているとおりですが、本日22日にとびうめアリーナの令和2年度のグループ4の調整会議を行います。

27日は体協加盟団体の屋外施設の年間調整会議を行います。

2月の行事計画です。4ページをご覧ください。

1日に、体育協会・スポーツ少年団加盟団体指導者研修会が行われます。これは、学校教育課が体育協会へ委託している中学校の運動部部活の外部指導者の研修も兼ねています。

4日には、川越市議会がとびうめアリーナの視察に来られます。

18日が梅林アスレチック公園の年間調整会議、23日は福岡地区スポーツ少年団駅伝大会が筑紫野市の天拝湖公園で実施されます。

スポーツ課からは以上です。

○樋田教育長

全課の報告が終わりましたが、ご質問等はありませんでしょうか。

○野中委員

子ども・学生未来会議が、閉会が5時15分になっていますよね。送迎は学校の先生がされるのですか。保護者がされるのですか。

○社会教育課長

保護者の送迎でお願いし、募集をかけています。

○野中委員

送迎は保護者。

○社会教育課長

はい。

○樋田教育長

よろしいですか。

教育委員会の行事ということではないのですが、既に案内されているかもしれませんが、市のキャラクターマスコットが決まり、新聞でも発表されたと思います。「たびと君」と「れいわ姫」と、それから「タビット君」ですね。ということで、三つ一緒に使われるときもあれば、それぞれ単独で使われるところもあるということです、紹介をさせていただきます。

○野中委員

発見塾ですね、これは塾生で最初の申し込みをされた方しかお話は聞かないのでしょうか。

○文化財課長

そうです。年間で申し込みいただいています。

○野中委員

ですよ。飛び入りで「聞かせてください」というのはできないということですね。

○文化財課長

1回幾らというのは今はしていません。

○樋田教育長

よろしいですか。

○野中委員

はい。

○樋田教育長

それでは、行事関係を終わります。

[太宰府市放課後子ども教室報告]

○樋田教育長

では、次の4番、太宰府市放課後子ども教室の報告をします。

資料5ページをご覧ください。社会教育課長、お願いします。

○社会教育課長

放課後子ども教室については、前回の検討会でチラシをもとに説明させていただきましたが、今回要領的なものを作成しています。これについては前回は説明しましたが、新年度事業ということで、最終的に関連する予算は3月議会で承認の上ということになりますので、現状ではそれを想定しての準備を進めているところです。

子どもたちの放課後の居場所づくりということで、文科省、福岡県教育委員会が強く進

めている事業であり、放課後に主に学校グラウンドあるいは特別教室等を使って、子どもたちに様々な活動をする場を設けていくということで準備を進めています。今のところ予定では、令和2年度にモデル校的に1校実施し、新年度途中から1年間実施して、できればその後、他の学校へ広げていきたいと考えています。

学校関係とも、校長には話したところですが、これから学校、それから学校運営協議会に説明し、趣旨をご理解いただいた上で、実施に向けて動きたいと考えているところです。説明は以上です。

○樋田教育長

前回の勉強会で、少しビジュアルな資料を出させていただきました。それを今度はもう少し具体化して、実施要領として作成したところです。予算の確定を待って、動き出すということですが、子どもたちに少しでも居場所を増やそうという意図での取り組みです。質問等はありませんか。

○武藤委員

この放課後子ども教室に参加する子どもたちというのは、事前に申し込みをした子どもでないといけないのですか。

○社会教育課長

事前に申し込みをかけるようにします。こちらに参加した場合、どうしても5時まで学校で過ごして帰るようになるので、その学校の帰りの問題もありますし、事故等のおそれもありますので、事前に保護者の承諾のもとに申し込みをした子どもたちを対象にします。

○武藤委員

それは4月の段階で登録をする仕組みで、この日は来るけど来週は来ないなど、いろいろな子どもたちがいますが、一々その出欠を事前にするのですか。

○社会教育課長

その辺はこれから詰めたと思いますが、当然、先を見ることまでは難しいです。では毎回毎回出欠をとるか、ある程度月単位でまとめてとるかなどがありますので、その辺は今後詰めていきたいと思います。

○武藤委員

そうですね。あのチラシを見て、裏側のLINEの感じで見たら、「今日何々ちゃんが行くから、じゃ、私も行こうかな」みたいに受けとめたので。

○社会教育課長

できるだけ柔軟な対応はしたいと思っています。

○武藤委員

ということですね。

○社会教育課長

最低でも保護者の、何らかの形で承諾をとった上でないといけないかと思います。

○武藤委員

そうですね、わかりました。

それともう一点なのですが、学童のお子さんも来ていいということで、5時に終わって、一旦また学童に戻ってというようなことが載っていたのですが。

○社会教育課長

今のところ学童のお子さんも対象とするように予定しています。その学童のお子さんは、一度学童に行ってから来て、終わったら学童に戻る形になります。

○武藤委員

また学童に戻るのですか。

○社会教育課長

はい。その辺もまた、これから学童との具体的な、途中で両方帰ったつもりでいて、なくなったというようなことになると大変なことになりますので。

その辺の事務的なことは詰めていきたいと思います。

○武藤委員

ありがとうございます。

○樋田教育長

どうぞ。

○野中委員

将来的には全ての小学校に配置を予定されていくのですよね。

○社会教育課長

そうです。

○野中委員

後の施策要綱にも関連しますが、来年度1校だけから始めてということが書いてあります。第8条の3番に、「協働活動支援員は、事務局職員（社会教育課）が兼ねることもできるものとする」となっていますよね。本来的には、その地域で支援をしていただける方を募りながら、各学校1名の支援員を配置して実施するのですか。

○社会教育課長

はい。

○野中委員

あと、第13条に委託ということで、「事業の一部を委託することができる」となっていますよね。具体的に中身については、まだこれから考えられると思うのですが、それとあわせて、持続的に運営するための協議会の設置、運営協議会、この人数、それから具体的な中身というのは、もう案ができていますか。

○社会教育課長

具体的なものはありませんが、今既に、学校の場合、学校運営協議会という組織がありますので、別組織をつくって二重になるのも変なので、その辺の運営協議会の方々に組織するのか、同じような組織が二つできない形を考えたいと思っています。

○野中委員

前回、教育長からの話で、具体的には6月ぐらいから始められればいいというお話がありました。

○樋田教育長

はい。

○野中委員

実際、西小学校の子どもたちにアンケートをとって、8割、9割の子どもたちが行きたいということも想定されながら考えてあるのかなと思いますが、受け入れ、実態的に西小学校の子ども、1年生から6年生まででしょう。そうしたら低・中・高に分けた中身、1時間なり1時間半ぐらいの活動内容をどのように仕組むか、かなりいろんな問題がここにはあるような気がします。時間が5時までで社会体育が5時から始まります。活動場所は限られてくる。そういったことをもう少し慎重に検討しないと、始めたはいいが、実際、子どもたちが何をやっているのかわからないような状況で、ただ預かっているだけというような状況にならないようにしないといけないと懸念します。

○社会教育課長

ありがとうございます。

○野中委員

3月議会に提案されるということなので、その辺をもう少し具体的に考えていただいて提案していかないと、当然、予算化をしなければいけないでしょうし、財源的なものも出てくるのではないかと思います。学校によっては、その学校の中でどれぐらいの人数が来て、どこで何をするかというのは、環境によっては収容できない学校もあるような気がします。来年度は、西小学校を仮に実施するとして、どのような実態になるかによって、その後のことも考えられると思いますが、その辺をもう少し具体的に説明ができるような形で詰めていただきたいと思います。

○社会教育課長

ありがとうございます。その辺、もう既に先行して実施している市町村も結構あるので、例などを参考にして、実際開始して、想定以上にたくさん来た場合はどうするのか、あるいは逆に、募集をかけたけど、なかなか子どもたちも忙しいので来なかったということもありますので、他市の先行事例などを勉強させてもらいながら、じっくりと詰めていこうと思います。

○野中委員

仮に先に子どもたちに、「こういうふうなのがあったらみんな参加する」と言って、どれぐらいの子どもたちが行こうと考えているのか、事前に調査したほうが、私は、具体的にその活動内容を組むときに参考になると思います。6年生はもう卒業しますから、5年生から1年生の子どもたちに対して。確かに放課後、子どもたちの居場所づくりのためには、とてもいい施策だと思いますので、そういう意味で検討してもらったらと思います。

○樋田教育長

ありがとうございます。

つけ加えますと、もう大野城市では有名ですが、ランドセルクラブなど様々な名称をつけて、各地で取り組まれています。今課長が申し上げたように、先行事例、それから人数、どのような内容かなども十分に研究しながら進めていきたいと思っています。

あわせて、6月ということで、少し時間をいただいていますので、学校側ともしっかり詰めながら、ぜひ、いい事業になるように取り組みたいと考えているところです。

よろしいですか。

○桑野委員

先ほど予算化とおっしゃったのですが、もう予算は成立しているのですか。

○樋田教育長

まだですね。

○桑野委員

ですよ。どういうものを予算化されようとしているのですか。

○社会教育課長

今予定しているのは、例えば放課後教室で、講師などの先生的な方が必要ないものもあれば、例えば学校のパソコン教室を使ってパソコンを教えるとなった場合の技術をお持ちの方を呼んだ際の謝礼、それといわゆる地域活動支援員ですね、こういったものを配置したときの報酬、そういったものを予算で上げています。

○桑野委員

どのぐらいの額ですか。

○社会教育課長

総額で約40万円ぐらいです。

○樋田教育長

地域の方にたくさんおいでいただいて、こま回し、竹トンボ、紙飛行機など、様々な体験活動をしていただくことになるとは思いますが、ある意味、そちらはボランティアをお願いしながら、地域ぐるみで子どもたちを育てていくという基本的な考え方で実施する予定です。ただ、お世話する方をつなぐといいますか、子どもたち、先生、それから地域の方をつなぐ方は、きちんと位置づけるという形での予算を考えているところです。基本的にはどこの市町村もそのやり方で実施しているようです。

よろしいですか。

○桑野委員

地域協働活動指導員、ボランティアはという言葉と、地域活動支援員など、いろいろな言葉があつてのですが、ただ、読み取る分ではボランティアということ。ただ、その経費のところは、参加料無料だけれども、当然、材料費等にかかわる実費ということで、金額が40万であれば何となく想像もつくのですが、ただ予算となると、予算をつけたら、それに対して、何に対する予算ですか、どういう事業を考えているのですかということとは当然、誰しも疑問に思うところなので、それは先ほど野中委員がおっしゃったように、ある程度、幾つかでも持って、明確にしておかなければならないと思います。

○樋田教育長

予算に関しては細かい予算立てをしますし、当然、議会にもかけて説明もいたしますし、その前に教育委員さんたちの承認もいただくというような、さまざまな機会を通してオーソライズしていくということになろうかと思えます。

よろしいでしょうか。

[各委員 なしの声]

[太宰府市スポーツ推進計画策定に係る太宰府市運動・スポーツに関する意識調査アンケートの結果について]

○樋田教育長

続きまして5番です。スポーツ課ですね。スポーツ課の説明をお願いします。

○スポーツ課長

それでは、お手元に配付しております資料、アンケート調査対象者（案）というのを参照ください。1枚物です。

○樋田教育長

はい、どうぞ。

○スポーツ課長

現在実施中の太宰府市スポーツ振興基本計画が、今年度で計画満了となるため、ただいま業者を選定して、2カ年事業で次の計画、太宰府市スポーツ振興計画策定に取り組んでいます。その中で、太宰府市のスポーツに関する現状とか課題等を明らかにして、その計画に反映するために、アンケート、意識調査を行うものです。

対象としては、①から⑥まで書いています。

まず一般市民用で1,400人、あと障がい者ということで、当初240を考えていましたが、福祉課と協議する中で、福祉課が第5次太宰府市障がい者プランというのを作成するために、1,500のサンプルをアンケート調査するというのを聞きましたので、その中に項目を4項目追加し、そちらとあわせて、障がい者に関してはアンケートを実施するように変更しています。

②で、小学生の現在の5年生のうちの1クラス、各小学校ですね、中学校では各中学校の2年生のうちの1クラスということで考えています。

あと、スポーツ関係団体や教育機関ということで、小学校の教頭先生もしくは中学校の教頭もしくは体育担当教諭に依頼するようにしています。

説明は以上です。

○樋田教育長

策定に当たっての事前のアンケート調査です。質問等はありませんか。

[各委員 なしの声]

[東京2020オリンピック聖火リレーについて]

○樋田教育長

それでは、6番のオリンピック聖火リレーについての説明を、スポーツ課、お願いします。

○スポーツ課長

資料8ページ、9ページをご覧ください。

去る12月17日に、オリンピック組織委員会から聖火リレーの詳細が発表され、太宰府市では5月12日、時間はまだ未公表ですが、出発地点が天満宮参道から、ゴールが政庁跡ということで発表されています。

今後、市民への周知計画としては、本日配付の資料が、2月1日の広報誌の記事です。続きまして、4月1日の広報誌に、天満宮が毎年年始等に配布されているような交通規制のチラシ、A3サイズを二つ折りにした部分を広報誌に折り込み、全戸配布したいと考えています。最後に、5月1日にリレーに関する特集記事を考えています。

また、ゴール付近、公道では認められないのですが、市有地等で認められておりますサポートランナーといって、リレーのランナーを盛り上げるために、市内の各中学校及び各小学校に募集をしたところ、総勢124名の応募がありました。昨日、厳正な抽選をし、各中学校から1人、各小学校から男女1名ずつ、計18名のランナーを選定したところです。

説明は以上です。

○樋田教育長

5月ということで、実はあまり時間もなくなってきましたが、かなり長い時間をかけて準備をしてきたものです。オリンピック関係ということで、なかなか公表の時期に制限がありましたので、ここまでは公表していいということで、市報等に載せる準備をしています。

この件について質問等はありませんか。よろしいですか。

[各委員 なしの声]

○樋田教育長

あと、時間の関係等も公表できる時期が来ましたら、皆様方にお知らせをしたいと思っています。

[議案第1号 令和2年度太宰府市教育施策要綱（案）について]

○樋田教育長

それでは次に、審議に入ります。

本日は、議案第1号、令和2年度太宰府市教育施策要綱（案）についてを議題とします。では、教務係長の朗読を求めます。

○教務係

議案第1号、令和2年度太宰府市教育施策要綱（案）について。

標記について、確認を求める。

令和2年1月22日、太宰府市教育委員会教育長、樋田京子。

○樋田教育長

それでは、提案理由の説明を求めます。

前回少し勉強会の中で出ささせていただき、また、それを修正したものをお配りしていると思います。それから、今日の総合教育会議の中でもこの資料を使わせていただこうと思っています。もう何回か資料をお配りしたので、少し混乱をしているかと思いますが、現時点で一番精査されたものがお手元に届いていると考えています。

前回もご指摘をいただいていたのですが、今日もまた、せっかくですから時間を設けていますので、施策の中でお気づきになったこと、それから成果指標としてこういう形にしたのだろうかということでも結構です。ご意見を賜ればと思っています。

今回と、それからもう1回、2月の教育委員会でも議題としまして、2月にご承認をいただき、3月には公表という形で進めたいと思っていますところ。

どうぞ何ページでも、どの分野でも、全課長出席していますので、詳しい説明ができると思います。

前回の勉強会で、特に来年度変わるところについては、私のほうから概略は説明させてはいただきましたが、それも含めて、今の放課後子ども教室もそうですが、それ以外にも

何かお気づきのことがありましたら、どうぞ。

これは教務係長、この前、野中委員からご指摘いただいたことは、もう修正を入れていますか。

○教務係

はい。一応、修正して入れています。

○樋田教育長

はい、どうぞ。

○野中委員

前回の学習会のときもちょっとお話をしましたけど、13ページの生涯スポーツの推進のスポーツ課の箇所ですが、「総合体育館をはじめ、市内各体育施設の利用促進を図ります」と。そこに6カ所施設名が書いてあります。これは全部、指定管理分ですよ。せっかく調査されるのであれば、公的体育施設もあわせて調査できないですか。

ただ、成果指標のところは括弧して「指定管理施設」と書いてあるのですよね。で、13ページの④は「市内各体育施設」、ここには「指定管理」が入っていないので、ただ、成果指標の中には指定管理施設だけしか調査されないようになっていきますので、先ほどのスポーツ課のアンケートも含めて、調査されるのであれば、市内の公的施設、指定管理以外の利用者数も調べていただいて、今後の利活用の参考になるような資料が出てくるのではないかと思います。ぜひ検討していただきたいと思います。

○スポーツ課長

はい、ありがとうございました。

○樋田教育長

では、その件は検討させていただきます。

ほかにございませつか。

○野中委員

全体的に、この様式に変わる前の施策要綱には、文言で細かいことがたくさん並べてありましたよね。昨年度の点検評価の中にも、実績含めて次年度の課題等も書かれてあったのですが、今回、成果指標という形に変えたために、盛り込まれていない項目が幾つかあります。そういったものをどうやって吸い上げていくかというところが、少し気になりました。成果指標の出しやすい項目だけを挙げてあるからですね。

特に学力の向上と教職員の資質向上あたりについて、太宰府市が独自にやっている小学2年生の通過テスト、これには「全国学力調査等」となっているから、当然、その部分の分析も含めたところでの成果指標が出てくるだろうとは思いますが、せっかく太宰府市が取り組んでいるプロジェクト1・2・3を含めたものが、この中にもう少し具体的に盛り込めたら太宰府市らしさが出てくると思います。先生方の資質向上についても、いろんな

取り組みをされているじゃないですか、それぞれの学校で特徴的に。そういったものがここにはあらわされていないからですね。ぜひ、そこを盛り込んでもらったほうが、太宰府市が取り組んでいる内容がよく市民の方にもわかっていただけるのかなと思います。

○樋田教育長

関連するご意見はございませんか。

実際、私どもも、内部でその点について検討しています。この形ですっきりと、今後の評価・点検に結びついていきやすいという利点がありますが、野中委員が言われた、文章で表現してきてわかりやすかった部分を、この中にどう盛り込んでいくのか、それから、この施策要綱そのものをどこまで書くのかというのもあって、少し重点化した部分でやっていくのか、網羅していくのか、そこも再検討の必要があると思っています。

そして、この中に入り切れなかったものがあります。事業で枠がなかったので入れられていないところがあります。例えば水泳の事業等に関しての部分などです。そういうところをどこに持っていかうかと検討しているところです。これがまだ完璧なものでもありませんし、今のような大枠のご意見もいただきながら、大枠の見直しとともに、細かいところも修正していこうと考えています。形式が大きく変わったというところがあるので、見慣れていないというところもあります。ご意見をいただいて、総合的に事務局でもう一度見直したいと思います。

成果指標が多過ぎるのではないかと、どうしても数字にこだわってしまって、逆に見えなくなるところがあるのではないかとというご意見もいただいていますので、どこまでを成果指標という形でしていくのか、そうじゃない形であらわしていくのかというのは、検討の余地があると思っています。数字にあまりとらわれ過ぎないことも大事ですが、やはり成果を見るには数字的なものがないと見えないですね。

どうぞ。

○武藤委員

23ページの「学校教育の充実」というところで、1番の「学校いじめ防止基本方針」というところの成果指標なのですが、「いじめの認知件数脱「0」の学校数」って、ちょっとここも先ほど教育長がおっしゃったみたいに、数字の「0」にこの部分はこだわり過ぎていて、ちょっとわかりづらいという気がしています。認知件数がゼロじゃないところというところですよ。

もう一つ、最後の「出席「0」を実現した小学校」というところで、ここもわかりづらいと感じています。少し考えないと理解がしにくいので、「0」というのをただ、この英数字の「0」ではなくて、「ゼロ」というふうに片仮名で書いたりして、わかりやすくした方がよいのでは。「0」が二つ続いていて普通の書き方ではないので、その辺をもう少し言葉を変える工夫があったらいいのかなと考えました。

○樋田教育長

ここでスローガンの的になっていますので、内容を理解した上でこれを使っていくというのには効果的かもしれませんが、この時点でこれだったらわかりづらいというところです。

ね。

○武藤委員

見たときに、やっぱり市民の方にはわかりづらいなと感じました。

○樋田教育長

おっしゃるとおりだと思います。

○武藤委員

上の、この認知が脱「0」というのも、わかりにくいなとすごく思いました。

○樋田教育長

成果指標という形で書くと、できるだけ短くとか、そういう言葉になってしまうので、ついわかりづらい表現というのはあると思います。検討させていただきます。

○武藤委員

お願いします。

○樋田教育長

これは一般の方にも当然見ていただきますので、これはわかりにくいというようなところがありましたら、どうぞ。

形を変えての初年度になりますので、今年はこれを作りながら、いろいろ課題が見えてくるかなと思っていますので、来年度だけでなく、長期にわたって検討をしたいと思っています。それから、この前申し上げたように、毎年出すのかということもあります。今度また総合計画が変わっていきます。そうすれば当然、太宰府市の教育大綱も変わります。そんな中でこの施策要綱をどのようにしていくかというところも、改めて検討しなければいけないと思っています。

これが学校の教育目標とか学校の運営、経営にかかわっていきますので、行き先も考えながら、利用の仕方も考えながら、どういうものが市教委として望ましいのか、わかりやすいのかというところは検討する必要があると思っています。

よろしいでしょうか。再度事務局でも検討して、また資料をつくり直しますが、この間でも委員の皆様からお気づきの点がありましたら、事務局に随時出していただければと思っています。

では、この件につきましては継続審議事項となりますので、2月までの継続審議案件とさせていただきますと思います。それでよろしいでしょうか。

[各委員 異議なしの声]

○樋田教育長

それでは、議案第1号についてはこれで終わります。

これをもちまして1月定例会を閉会したいと思います。異議はありませんか。

[各委員 異議なしの声]

○樋田教育長

では、定例会を閉会します。

午後 2 時55分 閉会